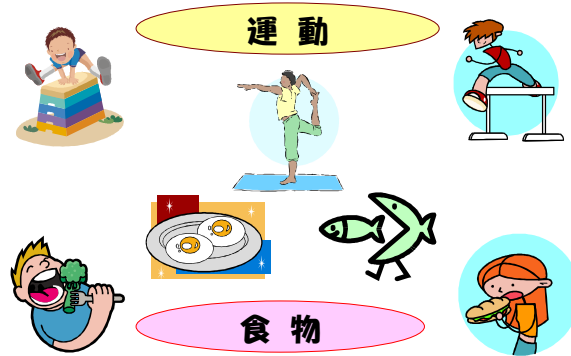


いのちと向き合う！
受けついで、
いのちのバトンを考える・・・

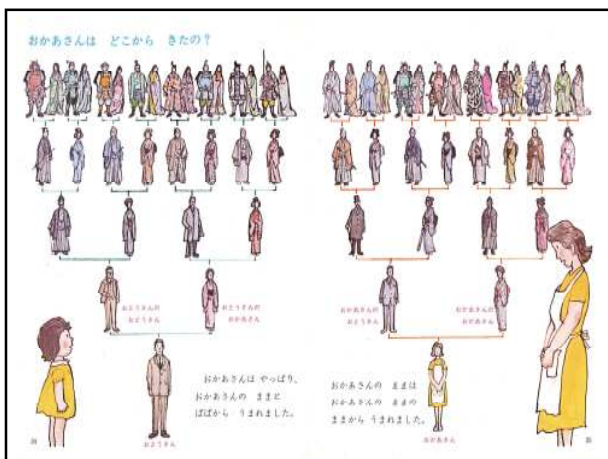
いのちを大切にすること・・・①



人間が人間どうしの、いのちを大切に
すること・・・②

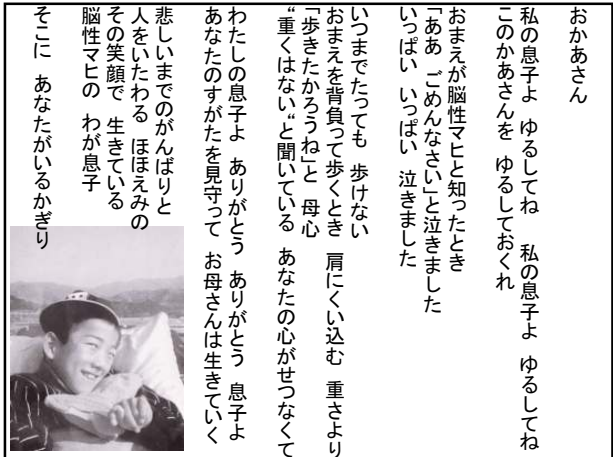
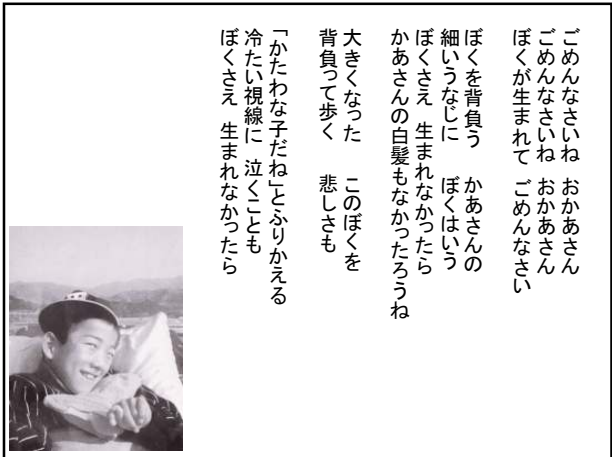
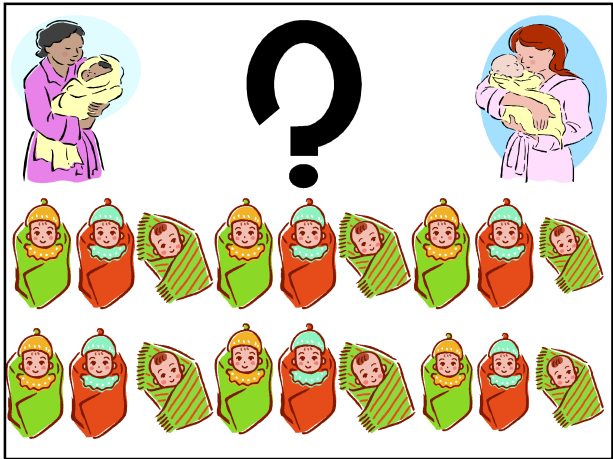
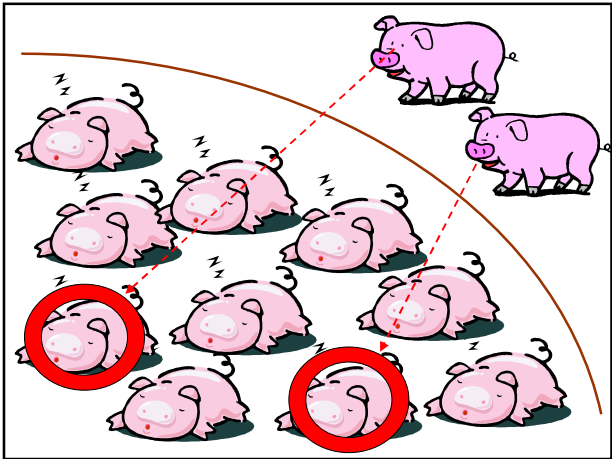
- ・ 家族・友だち・まわりの人たちのことを知る、知りたいと思うこと。
- ・ 知った上で、その人を大切に思うこと。

いのちのバトン！




自分の番

父と母で二人 父と母の両親で四人
そのまた両親で八人 こうして数えてゆくと
十代前で一〇二四人 二十代前ではなんと
一〇〇万人を超すんです・・・
過去、たくさんいのちのバトンを受け継いで
いまここに自分の番を生きている
それがあなたのいのちです
それがわたしのいのちです
あいだみつお「育てたように子は育つ」より



ありがとう おかあさん
 ありがとう おかあさん
 おかあさんがいるかぎり
 ぼくは生きていくのです
 脳性マヒを生きていく
 やさしさこそが 大切に
 悲しさこそが 美しい
 そんな人の生き方を
 教えてくれた おかあさん
 おかあさん…
 あなたがそこに いるかぎり



奈良県明日香村 社会福祉法人 わたぼうしの会の活動



**いのちと向き合う＝
 家族・友だち・まわりの人たちのことを
 知る、知りたいと思うこと。**

↓

知った上で、その人を大切に思うこと！

自分以外の人間を思いやり、自分以外の人間に
 おこっている出来事に対し、うれしい、楽しい、悲しいなどの
 気持ちをもつことができる。→ **おもいやり**

これができるのは人間だけ！！

認知症の人は、自分がおかしくなっていると感じ、だれよりも苦しんだり、
 なやんだり、悲しんだりしています。
 だから、まわりの人が、認知症の人の不安な気持ちを感じ取ったり、
 何にこまっているかを見てとり、助けてあげることが重要です。

人間が長い歴史の中で身につけてきた
 「相手のことを自分のこととして考えること」
 ぜひ、みなさんも、大切に思っ生きていってください。